

## ■ 研究所だより

榎本 木綿

今秋11月13、14日に開催される「全国協同集会2010 in 四国」実行委員会がいよいよ立ち上がりました。3月1日には丸亀商店街事務局会議室をお借りして、第2回目の実行委員会が開催され、NPOや市民団体などを含む約40名の方が参加されました。

開催地・香川では、全国集会の実行委員会の代表に古川康造さん(丸亀商店街振興組合理事長)や三矢昌洋さん(コンベンションビューロー副代表)などが決定し、また、大西秀人高松市長や子ども自身が作る「弁当の日」という取組みを提唱されている竹下和男先生の登壇も決定しました。これからさらに多くの方々への拡がり期待される集会です。

今回も実行委員会形式で運営されますが、「in 四国」と銘打ち4県にまたがっての開催のため、全国集会の実行委員会と併せ、四国各県での地域実行委員会も設立されます。また事前のプレ集会も各県で企画され(古村専務曰く、「地域懇談会も含め、四国・八十八箇所プレ集会開催だー!」との弁)、各県、各地域の課題が反映されたものが企画され始めています。

実行委員会翌日に集会参加の呼び掛けを行った愛媛県では、まちおこしなどに熱心な団体から、「県内のそうした取組みをしている団体や行政へ呼び掛けて『まちおこしサミット』をやったらどうか」という提案が出ています。意外なようですが、県内の団体同士の関係はまだ浅いため(堅実に

頑張っている団体ほど外への発信が上手くないようです)、このプレ集会を通じてそうした団体同士の横のネットワークを築き、事業を超えた新たな協同の地域づくり活動へとつながることを展望しているようです。

また、今回の集会では間近に迫った「協同労働の協同組合(仮)」法制化を視野に、新しい公共づくりや協同労働での地域の再生が大きなキーワードになります。法の施行後に私たちはどんな人たちと共にどのような社会を築きたいのか。そうしたビジョンを皆で考え、語り合い、拡げていく集会にしたいと思います。

さて、今後そうした住民主体による地域づくりはどの地域にも共通した課題です。先日、長野県王滝村で「コミュニティ事業支援条例学習の集い」が開催され、田中夏子先生(協同総研理事/都留文科大学教授)、小沢房生さん(長野高齢協)、田嶋さんとともに伺ってきました。

王滝村は人口1千人に満たない木曾の山間にある小さな集落です。1984年の「長野県西部地震」では多数の死者を出すなど大きな被害を受け、現在では住民の過疎高齢化が急速に進むいわゆる「限界集落」と呼ばれる地域です。また、2006年度決算では財政破たんした夕張市の財政指標「実質公債費比率」が38.1%、王滝村はそれを超え42.2%という全国最悪の数値が出されました。「木曾ひのき」で有名な林業も衰退し、4集落が失われた牧尾ダム建設と引き換え



集まった王滝村の皆さん



学習会の様子

に建てられた村内最大の産業であるスキー場もいまや多額の負債を生む要因となり、また国の三位一体の改革で歳入が大幅に削減されたため、険しい財政再建の道を強いられています。

じつはこの王滝村は田中先生が都留大の地域社会論ゼミナールの学生たちとともに調査合宿で通われている地域の一つで、苦しい自治体財政が生み出された背景や住民生活への影響について調査するとともに、そうした地域で生まれている住民主体の新しい活動の展開について学ばれてきました。今回はそうしたご縁から、地域で村づくりの活動に取り組む「ずくだそ(土地のことばで「みんなで知恵と汗とやる気を出して頑張ろう!」という意)応援隊」という村づくりのための住民組織のグループが村内によびかけ、学習会を開催しました。

当日は冷たい春の雨のなか、地域住民や市民活動グループ、役場職員や村議員の皆さん約30名の方々が集われ、田中先生のコーディネートのもと、たいへん熱心に耳を傾け、討議がされました。小沢さんや田

嶋さんから長野高齢協や全国のワーカーズコープの取組みを通じ、「協同労働」が地域づくりに果たす役割と意味について話され、それを後押しする制度として「協同労働の協同組合(仮)法」や「コミュニティ事業支援条例」などについて紹介されました。途中、深谷の「とうふ工房」の仕事おこしについての報道VTRも観てもらい、会場からは讃嘆の声も聞かれる場面もありました。

この集會に集まった地域住民の皆さんはそれぞれとても興味深く、意味のある活動を進めています。ところが、それぞれが王滝村という地域の中でバラバラに活動しているため、大きな流れが生み出されずにいるという印象を受けました。今回の学習会では協同の作業から互いのネットワークづくりをしようという提案がなされ、その第一歩として村を紹介するパンフレット作りの案があげられ、今後の展開がひとつ生まれました。

農山村地域にはいまだ色濃く残る「結」や「講」など、協同労働と共通し、馴染む

要素が多く見受けられます。今回の学習会は集落の生き残りを模索するなかで、国に翻弄されない地方のあり方を住民たち自身が連帯し、考える契機の間となり、私にとっ

ては地域の方々からとても多くの学びをいただく場となりました。法制化後の協同総研の役割がまたひとつ具現化した一日でした。

## 研究所活動日誌

- |  |  |
|--|--|
| 02/01(月) 「協同の発見」誌編集委員会(大高氏、岡安、古谷、田嶋、榎本)          | 02/13(水) 全国公共サービス集会実行委員会(田嶋)                                     |
| 02/05-06(金-土) 全国公共サービス「よい仕事」研究交流集会2009(労協連)      | 02/14(日) 深谷地域福祉事業所だんらん・愛彩リニューアル記念「深谷まちづくりシンポジウム」(大高氏、向谷地氏、田嶋、榎本) |
| 02/06-07(土-日) 久万高原町イベント(池袋・愛媛県アンテナショップいよかん・管、榎本) | 02/16(火) 事務局会議／弘前大学・走井先生来所(大高氏、岡安、田嶋、榎本)                         |
| 02/07(日) 東京ボランティアフォーラム(田嶋)                       | 02/18(木) ソーシャルインクルージョン東京集会実行委員会(田嶋)                              |
| 02/08-09(月-火) 労協連・職業訓練講座会議                       | 02/20-21(土-日) センター事業団子育て合宿会議(田嶋、榎本)                              |
| 02/09(火) ソーシャルインクルージョン・フォーラム大阪集会実行委員会(田嶋)        | 02/26-27(金-土) 長野県王滝村訪問「コミュニティ事業支援条例」学習会(田中(夏)氏、田嶋、榎本)            |
| 02/10(水) センター事業団組合員アンケート調査会議(協同総研受託)             | 02/27(土) 協同組合学会・新協同組合理論研究会(岡安)                                   |

## 今後の予定

- |                                       |                                     |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 03/01(月) 全国協同集会 in 四国 第2回実行委員会(田嶋、榎本) | (古村、田嶋)／労金主催「全国NPO担当者会議(岡安)         |
| 03/02(火) 四国オルグ活動(香川、愛媛、徳島)            | 03/06(土) 協同総研第4回理事会                 |
| 03/04(木) センター事業団組合員アンケート調査会議          | 03/06(土) すみだ子育てまちづくりシンポジウム(墨田区／前山氏) |
| 03/05(金) 連合総研主催「協同労働」学習会              | 03/07(日) 協同労働ネットワークひろしま             |